

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概要（連結）

平成 15 年 8 月 8 日

上場会社名 株式会社エディオン (コード番号：2730 東証、大証、名証 市場第 1 部)
 (URL <http://www.edion.co.jp/>)
 代表者 役職・氏名 代表取締役社長 久保 允誉
 問い合わせ先責任者 役職・氏名 経理部長 外山 晋吾 (TEL：(03) 5783 - 6211)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

(1) 売上高（又はこれに相当する事項）【百万円未満切捨】

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	99,500	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-
(参考) 14 年 9 月期	222,784	-

(注) 1. 売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、対前年同期増減率であります。

3. 四半期業績の開示は、当連結会計年度より実施しておりますので、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

4. 参考値として平成 14 年 3 月 29 日から平成 14 年 9 月 30 日までの 14 年 9 月期を記載しております。また 14 年 9 月期は変則決算であり、6 ヶ月と 3 日の実績数値となっております。

[売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明]

当第 1 四半期における我が国経済は、イラク戦争の早期終結や株価の持ち直しもあって一段の落ち込み懸念は薄らいだものの、引き続き景気は横ばい感を抜けきらず、個人消費も低迷したまま推移いたしました。

当家電業界におきましては、昨年の W 杯開催特需の反動を受けたプラズマディスプレイテレビ等の大型テレビの需要減や、パソコンなど IT 商品の長引く低迷を受け、極めて厳しい環境で推移いたしました。

こうしたなかで当企業グループは、オリジナル商品の開発、販売の業務提携 5 社グループの名称を「Voice Network」と定め、「お客様の声をカタチに」をコンセプトに、地域に密着してお客様の課題を一緒になって解決し、商品を開発して行くことに注力してまいりました。また、「Voice Network」共同開発ブランドとしてオリジナル商品第二弾「MY&OUR」を発売し、第一弾の「jazzberry」と共にお値打ち感のある商品をお客様に提供してまいりました。店舗展開におきましては 4 月にデオデオ長門店を増床、6 月にはデオデオ舟入店を増床、エイデン扶桑店を新規出店し、エイデン江南店を閉鎖いたしました。以上の結果売上高は 995 億 00 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	220,000	4,900	1,300	16.61
通期	450,000	10,000	2,500	31.95

[業績予想について]

今後の我が国経済は、依然景気の不透明感は拭えず個人消費も低迷するものと思われれます。家電業界におきましても長雨の影響などもあり、ますます厳しい経営環境が続くと思われれます。

当企業グループにおける当該四半期の業績は概ね計画どおりに推移しており、業績予想に修正はありません。

[業績予想に関する定性的情報]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上